

作成年月日	平成24年1月10日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第3回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

< 参考 - 対象者及び回答者属性 >

- (1) 調査テーマ：「介護に関する意識」
- (2) 調査対象者：県民モニター1,821人
- (3) 調査期間：平成23年10月31日(月)～11月14日(月)[15日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：1,226人(回答率67.3%)
- (6) 自由記入欄：7箇所設定(回答者の41.8%がいずれかに記載)

		対象者	回答者	回答率
総数		1,821	1,226	67.3%
性別	男性	1,029	724	70.4%
	女性	792	502	63.4%
年代別	10～20代	129	75	58.1%
	30代	306	169	55.2%
	40代	327	217	66.4%
	50代	305	202	66.2%
	60代	470	360	76.6%
	70代以上	284	203	71.5%

2 調査結果の概観

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																					
健康を維持し、介護が必要な状態にならないために大切だと思うこと/実行していること	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>大切だと思うこと</th> <th>実行していること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休養や睡眠を十分にとる</td> <td>86.4%</td> <td>66.1%</td> </tr> <tr> <td>栄養バランスの取れた食事をとる</td> <td>85.9%</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td>規則正しい生活を送る</td> <td>83.1%</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>散歩やスポーツをする</td> <td>80.0%</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>健康診断などを定期的に受ける</td> <td>78.8%</td> <td>60.8%</td> </tr> <tr> <td>気持ちを明るく保つ</td> <td>77.7%</td> <td>60.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	大切だと思うこと	実行していること	休養や睡眠を十分にとる	86.4%	66.1%	栄養バランスの取れた食事をとる	85.9%	66.0%	規則正しい生活を送る	83.1%	57.9%	散歩やスポーツをする	80.0%	61.0%	健康診断などを定期的に受ける	78.8%	60.8%	気持ちを明るく保つ	77.7%	60.5%	<p>健康を維持し、介護が必要な状態にならないために、「休養や睡眠を十分にとる」、「栄養バランスの取れた食事をとる」、「規則正しい生活を送る」、「散歩やスポーツをする」、「健康診断などを定期的に受ける」、「気持ちを明るく保つ」を約8割の人が「大切だと思う」とし、約6割の人が、これらを実行している。</p> <p>「大切だと思う」人の割合と「実行している」人の割合が各項目とも約2割の開きがあり、「大切だと思うこと」を「実行」に繋げるために、介護予防事業の充実と、参加率向上の取組を強化することが必要である。</p>
区分	大切だと思うこと	実行していること																					
休養や睡眠を十分にとる	86.4%	66.1%																					
栄養バランスの取れた食事をとる	85.9%	66.0%																					
規則正しい生活を送る	83.1%	57.9%																					
散歩やスポーツをする	80.0%	61.0%																					
健康診断などを定期的に受ける	78.8%	60.8%																					
気持ちを明るく保つ	77.7%	60.5%																					
高齢期の生活について	<p>【家族が寝たきりや認知症になること 不安:78.2%】 【自分が寝たきりや認知症になること 不安:76.8%】</p>	<p>高齢期の生活について、全体の8割近くの人が「家族が寝たきりや認知症になること(78.2%)」、「自分が寝たきりや認知症になること(76.8%)」を「不安」としている。</p> <p>介護をするうえで、または将来介護をするとした場合に、困難や不安を感じることは、「介護の身体的な負担が大きいこと(80.7%)」が8割を超え、「介護がいつまで続くかわからないこと(74.1%)」、「金銭の負担が大きいこと(73.6%)」が続いており、介護について、身体的な負担、長期化、経済面に対する不安を感じていることがうかがえる。</p> <p>介護保険制度のサービス内容や手続について、一層の周知を行うことで、介護への不安の軽減・解消を図るとともに、介護者の負担を軽減するために、介護サービスの充実を図ることが必要である。</p>																					
介護するうえで(または将来介護をするとした場合に)困難や不安を感じることは	<p>【介護の身体的な負担が大きいこと :80.7%】 【介護がいつまで続くかわからないこと:74.1%】 【金銭の負担が大きいこと :73.6%】</p>																						

(裏面へつづく)

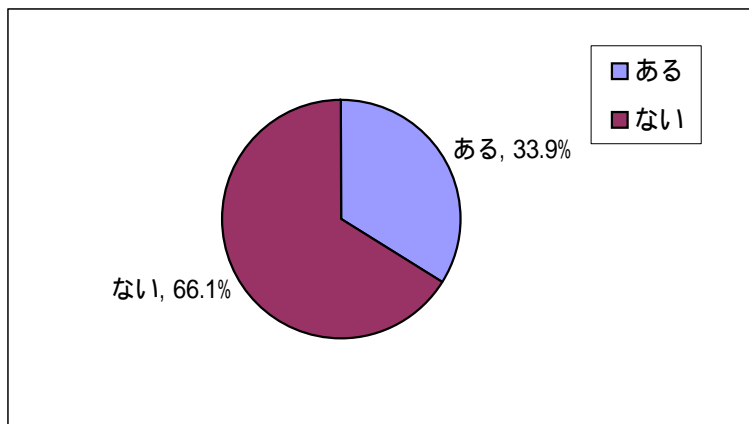
項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																									
介護経験の有無について	【ある:33.9%】 【ない:66.1%】																										
介護保険料とサービス水準のあり方について	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="2">介護経験の有無</th> </tr> <tr> <th>経験あり</th> <th>経験なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険料が高くなって もいいから、介護 サービスを充実して ほしい</td> <td>28.2%</td> <td>32.7%</td> <td>25.9%</td> </tr> <tr> <td>保険料も介護サー ビスも現状程度でよい</td> <td>28.5%</td> <td>28.6%</td> <td>28.5%</td> </tr> <tr> <td>介護サービスの水準 を今より抑えても、 保険料が低くなるほ うがよい</td> <td>11.3%</td> <td>8.9%</td> <td>12.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	全体	介護経験の有無		経験あり	経験なし	保険料が高くなって もいいから、介護 サービスを充実して ほしい	28.2%	32.7%	25.9%	保険料も介護サー ビスも現状程度でよい	28.5%	28.6%	28.5%	介護サービスの水準 を今より抑えても、 保険料が低くなるほ うがよい	11.3%	8.9%	12.6%	<p>介護保険料とサービス水準のあり方について、全体では、現状と同程度を維持してほしい(28.5%)、保険料が高くなって介護サービスを充実してほしい(28.2%)という人が、合わせて6割近く(56.7%)に達している。</p> <p>これを介護経験の有無で見ると、保険料が高くなって介護サービスを充実してほしいという人の割合が、介護経験のある人は、経験のない人に比べ、約7ポイント高い。</p>							
区分	全体			介護経験の有無																							
		経験あり	経験なし																								
保険料が高くなって もいいから、介護 サービスを充実して ほしい	28.2%	32.7%	25.9%																								
保険料も介護サー ビスも現状程度でよい	28.5%	28.6%	28.5%																								
介護サービスの水準 を今より抑えても、 保険料が低くなるほ うがよい	11.3%	8.9%	12.6%																								
自分自身/家族について、自宅と施設どちらでの介護を望むか	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">全体</th> <th colspan="2">介護経験の有無</th> </tr> <tr> <th>経験あり</th> <th>経験なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自分自身</td> <td>自宅での介護</td> <td>28.8%</td> <td>32.0%</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>施設での介護</td> <td>42.5%</td> <td>40.4%</td> <td>43.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">家族</td> <td>自宅での介護</td> <td>31.5%</td> <td>34.1%</td> <td>30.1%</td> </tr> <tr> <td>施設での介護</td> <td>41.2%</td> <td>38.7%</td> <td>42.5%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	全体	介護経験の有無		経験あり	経験なし	自分自身	自宅での介護	28.8%	32.0%	27.2%	施設での介護	42.5%	40.4%	43.6%	家族	自宅での介護	31.5%	34.1%	30.1%	施設での介護	41.2%	38.7%	42.5%	<p>自宅と施設のどちらで介護を望むかについて、全体では、自宅での介護を望む人は「自分自身」「家族」の場合ともに約3割、施設での介護を望む人は「自分自身」「家族」の場合ともに約4割であった。</p> <p>これを介護経験の有無で見ると、介護経験のある人は、経験のない人に比べ、自宅での介護を望む割合が、「自分自身」「家族」の場合ともに、約4ポイント高い。</p> <p>保険料とサービス水準のバランスに配慮したうえで、施設整備に加え、在宅サービスを充実させることが必要である。</p>
	区分				全体	介護経験の有無																					
		経験あり	経験なし																								
自分自身	自宅での介護	28.8%	32.0%	27.2%																							
	施設での介護	42.5%	40.4%	43.6%																							
家族	自宅での介護	31.5%	34.1%	30.1%																							
	施設での介護	41.2%	38.7%	42.5%																							

アンケート結果は、兵庫県老人福祉計画（第5期介護保険事業支援計画）改定の参考とする。

3 調査結果

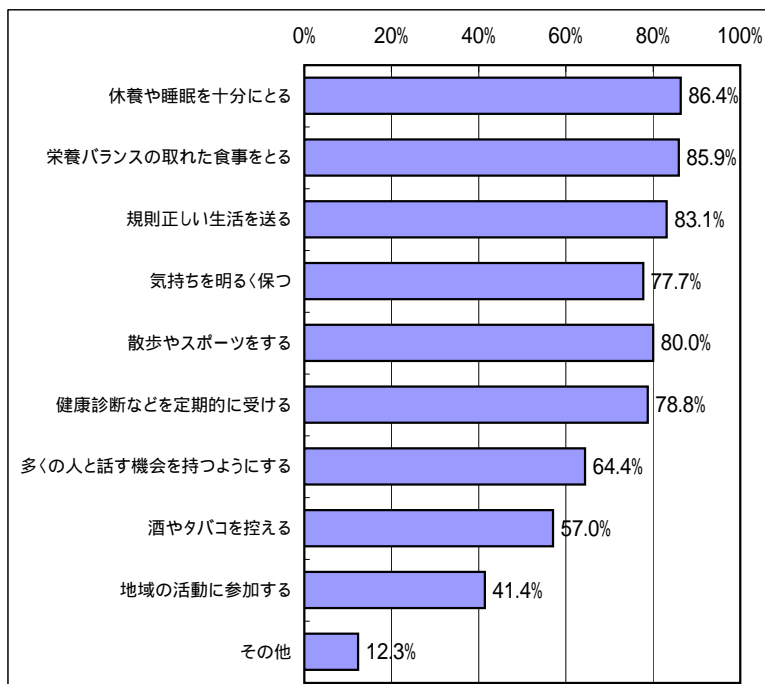
Q1 今までに介護を受けたり、介護をしたりした経験があるか (1つ選択)

- (1) ある 33.9%
- (2) ない 66.1%



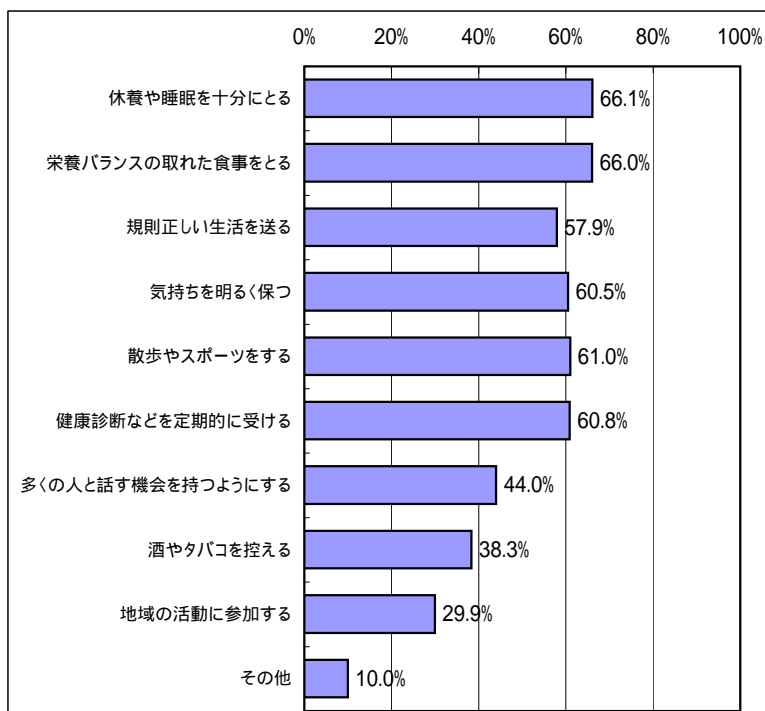
Q2 健康を維持し、介護が必要な状態にならないために大切だと思うことは (いくつでも選択)

- (1) 休養や睡眠を十分にとる 86.4%
- (2) 栄養バランスの取れた食事をとる 85.9%
- (3) 規則正しい生活を送る 83.1%
- (4) 気持ちを明るく保つ 77.7%
- (5) 散歩やスポーツをする 80.0%
- (6) 健康診断などを定期的にする 78.8%
- (7) 多くの人と話す機会を持つようにする 64.4%
- (8) 酒やタバコを控える 57.0%
- (9) 地域の活動に参加する 41.4%
- (10) その他 12.3%
 - ・趣味や生きがいを持つこと 48件
 - ・自己管理に気を配ること 22件
 - など 151件



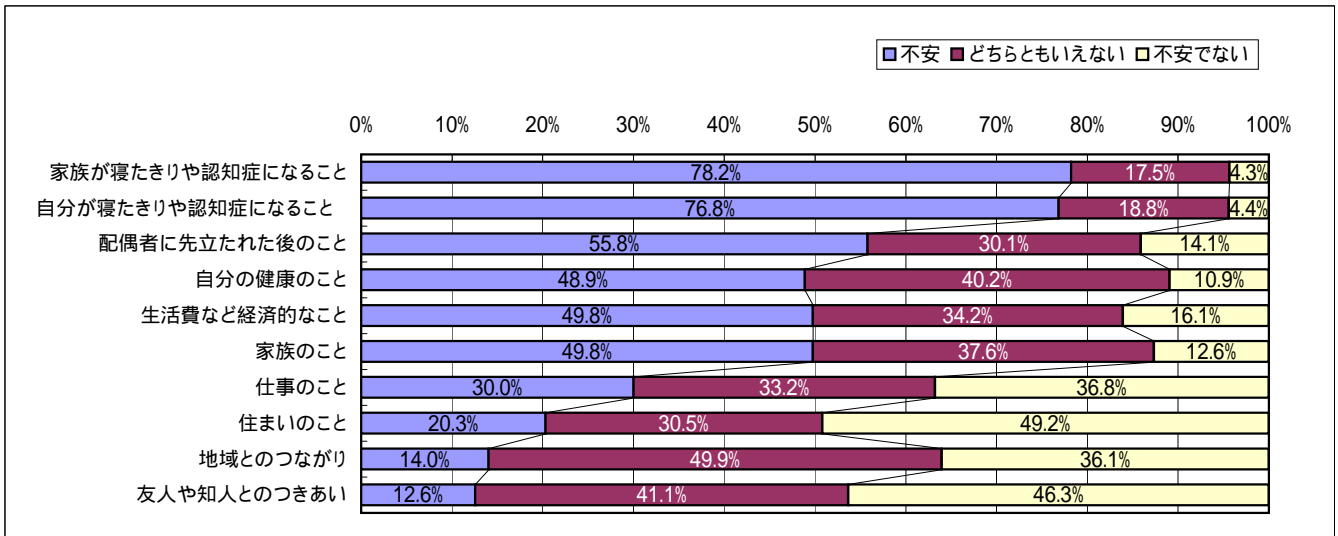
Q2-2 健康を維持し、介護が必要な状態にならないために実行していることは (いくつでも選択)

- (1) 休養や睡眠を十分にとる 66.1%
- (2) 栄養バランスの取れた食事をとる 66.0%
- (3) 規則正しい生活を送る 57.9%
- (4) 気持ちを明るく保つ 60.5%
- (5) 散歩やスポーツをする 61.0%
- (6) 健康診断などを定期的にする 60.8%
- (7) 多くの人と話す機会を持つようにする 44.0%
- (8) 酒やタバコを控える 38.3%
- (9) 地域の活動に参加する 29.9%
- (10) その他 10.0%
 - ・趣味や生きがいを持つこと 37件
 - ・自己管理に気を配ること 28件
 - など 122件



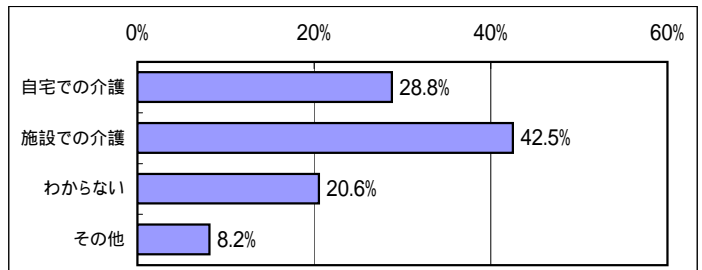
Q3 あなたが考える高齢期の生活について当てはまる項目は
(それぞれ3項目から1つ選択)

	不安	どちらともいえない	不安でない
(1) 家族が寝たきりや認知症になること	78.2%	17.5%	4.3%
(2) 自分が寝たきりや認知症になること	76.8%	18.8%	4.4%
(3) 配偶者に先立たれた後のこと	55.8%	30.1%	14.1%
(4) 自分の健康のこと	48.9%	40.2%	10.9%
(5) 生活費など経済的なこと	49.8%	34.2%	16.1%
(6) 家族のこと	49.8%	37.6%	12.6%
(7) 仕事のこと	30.0%	33.2%	36.8%
(8) 住まいのこと	20.3%	30.5%	49.2%
(9) 地域とのつながり	14.0%	49.9%	36.1%
(10) 友人や知人とのつきあい	12.6%	41.1%	46.3%



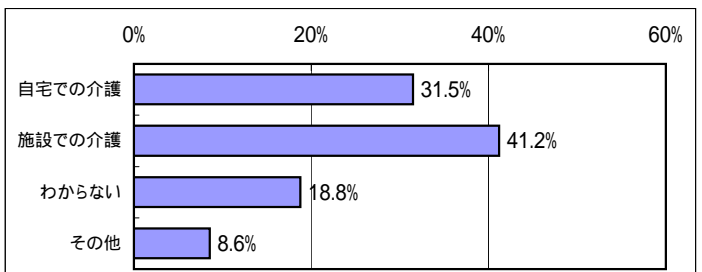
Q4 自分自身について、自宅と施設どちらでの介護を望むか (1つ選択)

(1) 自宅での介護	28.8%
(2) 施設での介護	42.5%
(3) わからない	20.6%
(4) その他	8.2%
・介護が必要な程度による	37件
・家族の判断に任せる	21件
など	100件



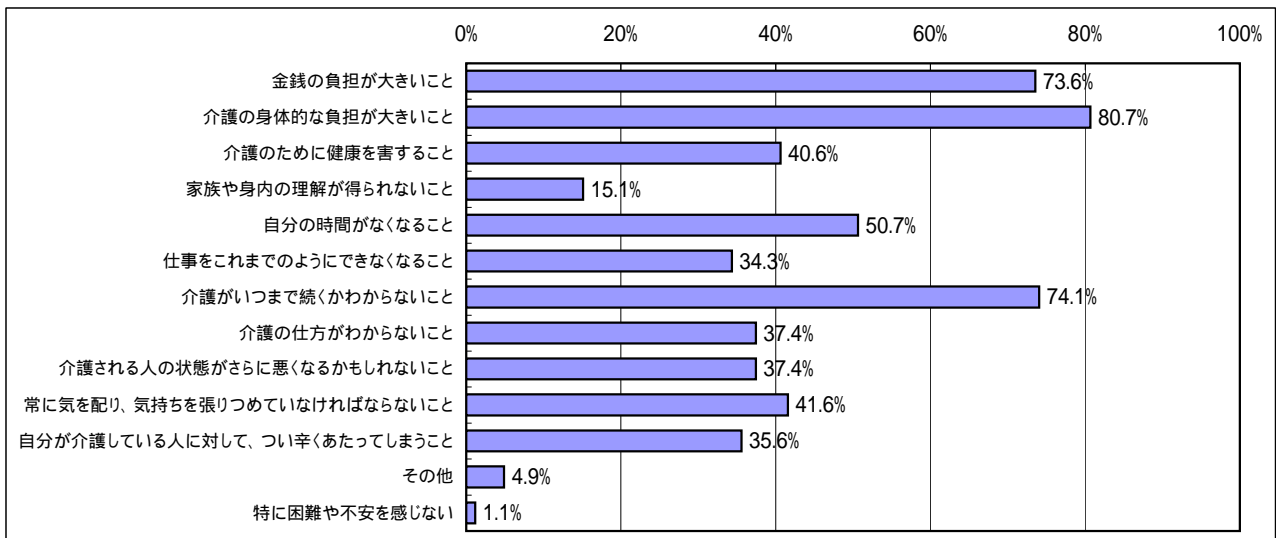
Q4 - 2家族について、自宅と施設どちらでの介護を望むか (1つ選択)

(1) 自宅での介護	31.5%
(2) 施設での介護	41.2%
(3) わからない	18.8%
(4) その他	8.6%
・介護が必要な程度による	46件
・その時の状況による	18件
など	104件



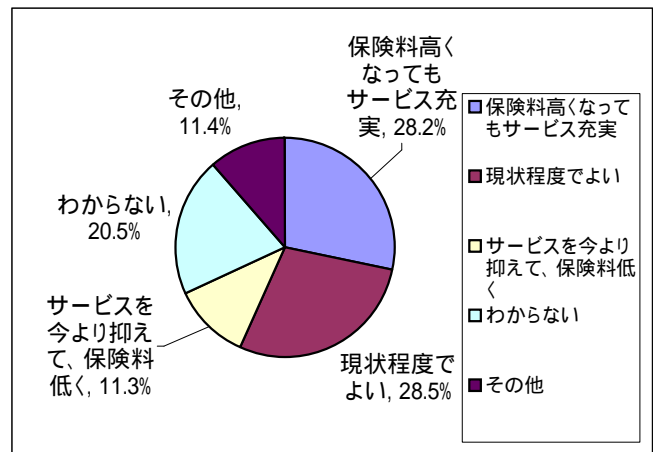
Q5 介護するうえで困難や不安を感じることは(いくつでも選択)

(1) 金銭の負担が大きいこと	73.6%
(2) 介護の身体的な負担が大きいこと	80.7%
(3) 介護のために健康を害すること	40.6%
(4) 家族や身内の理解が得られないこと	15.1%
(5) 自分の時間がなくなること	50.7%
(6) 仕事をこれまでのようにできなくなること	34.3%
(7) 介護がいつまで続くかわからないこと	74.1%
(8) 介護の仕方がわからないこと	37.4%
(9) 介護される人の状態がさらに悪くなるかもしれないこと	37.4%
(10) 常に気を配り、気持ちを張りつめていなければならないこと	41.6%
(11) 自分が介護している人に対して、つい辛くあたってしまうこと	35.6%
(12) その他	4.9%
(13) 特に困難や不安を感じない	1.1%



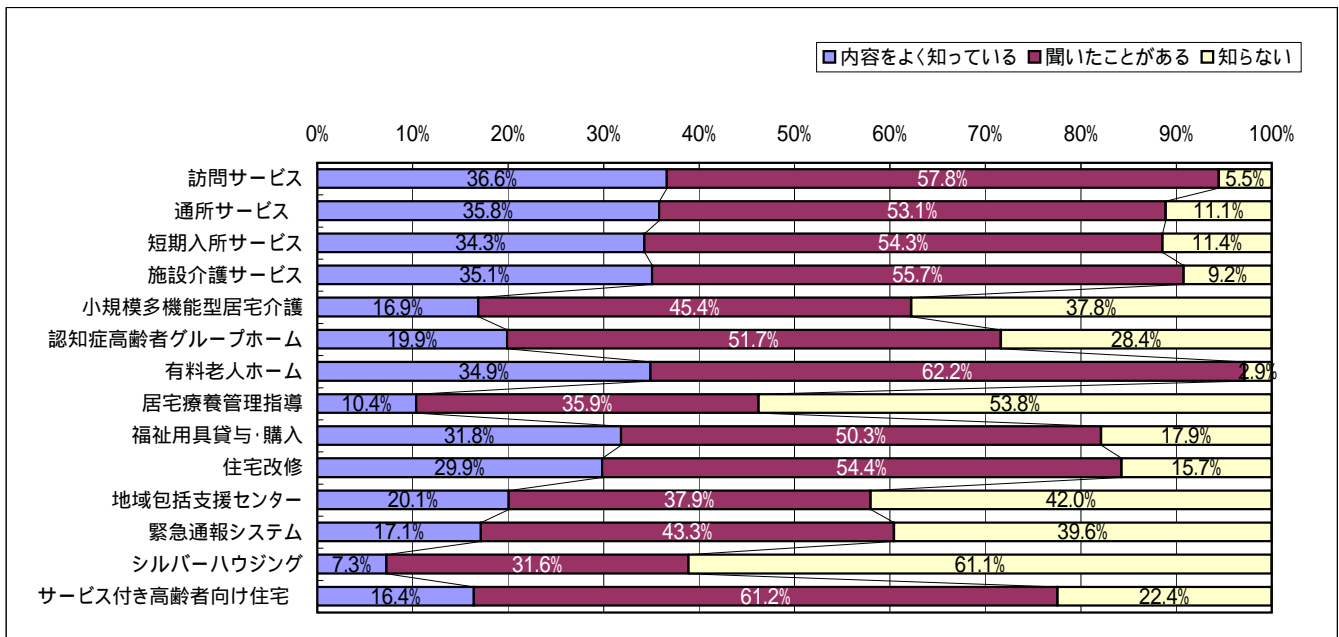
Q6 介護保険料とサービス水準のあり方について、当てはまる項目は(1つ選択)

(1) 保険料が高くなってもいいから、介護サービスを充実してほしい	28.2%
(2) 保険料も介護サービスも現状程度でよい	28.5%
(3) 介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい	11.3%
(4) わからない	20.5%
(5) その他	11.4%
・保険料下げ、サービス充実を	47件
・不公平感の解消を	21件
など	140件



Q7介護関連サービスの認知度(それぞれ3項目から1つ選択)

	内容をよく知っている	聞いたことがある	知らない
(1) 訪問サービス	36.6%	57.8%	5.5%
(2) 通所サービス	35.8%	53.1%	11.1%
(3) 短期入所サービス	34.3%	54.3%	11.4%
(4) 施設介護サービス	35.1%	55.7%	9.2%
(5) 小規模多機能型居宅介護	16.9%	45.4%	37.8%
(6) 認知症高齢者グループホーム	19.9%	51.7%	28.4%
(7) 有料老人ホーム	34.9%	62.2%	2.9%
(8) 居宅療養管理指導	10.4%	35.9%	53.8%
(9) 福祉用具貸与・購入	31.8%	50.3%	17.9%
(10) 住宅改修	29.9%	54.4%	15.7%
(11) 地域包括支援センター	20.1%	37.9%	42.0%
(12) 緊急通報システム	17.1%	43.3%	39.6%
(13) シルバーハウジング	7.3%	31.6%	61.1%
(14) サービス付き高齢者向け住宅	16.4%	61.2%	22.4%



Q8今後、介護保険制度行政に期待すること(自由記入)

- ・ 介護施設・介護関連サービスの拡充、質の向上 71 件
 - ・ 制度内容の充実、改善 66 件
 - ・ 制度やサービスについての情報提供 51 件
 - ・ 介護の実態の把握、事業者への指導の徹底 34 件
 - ・ 介護従事者の育成、待遇改善 25 件
 - ・ 不公平感のない制度運営 24 件
 - ・ 公平・公正な介護認定の実施 22 件
 - ・ 総合的な高齢社会対策の推進 21 件
 - ・ 制度内容や手続きをよりわかりやすく 17 件
 - ・ 介護予防対策の取組推進 15 件
 - ・ 気軽に相談できる窓口の拡充 9 件
- など 343 件

企画県民部広報課広聴室 (TEL078-362-3021)